

数字でみるEU

The EU in Figures

EUの産業界概観

このほど欧州委員会統計局が発表したEUの産業界を概観する統計年鑑によると、①女性は繊維産業、若者は宿泊・飲食業で働いている比率が高い(2006年)、②金融業を除く被雇用者数は全体で1億2,500万人であり、そのうちサービス業での被雇用者数は約1,900万人である(2004年)、③工業製品のEU域外への貿易額は1,700億ユーロの赤字となっている(2006年)——などが明らかになった。

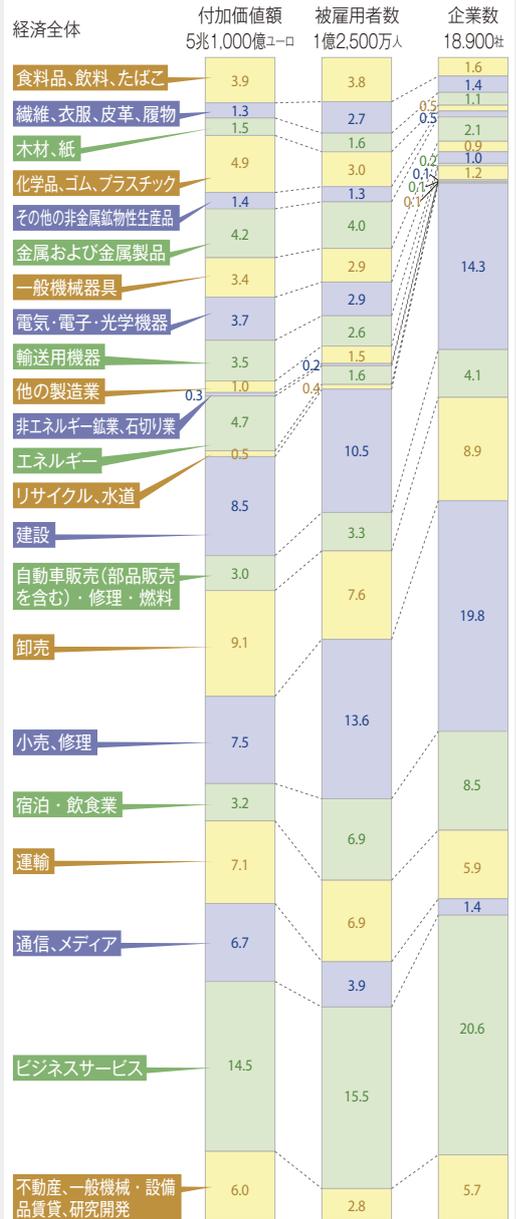
この統計で分析している主な23業種のうち、EU27カ国における男性の被雇用者数は19業種において女性を上回り、中でも建設業では92%を占めている。一方、女性の被雇用者数が男性を上回っているのは繊維・衣服製造業(69%)、小売業(62%)、宿泊・飲食業(56%)、金融サービス業(52%)の4業種のみ。また、パートタイム労働者の割合が高いのは、小売業(29%)、宿泊・飲食業(28%)、法務・会計・管理・コンピュータ・建築・エンジニアリング・広告などのビジネスサービス業(21%)の順となっている。年代別で見た被雇用者数は、15歳

から29歳までは、宿泊・飲食業(36%)、小売業(30%)、自動車販売(29%)の各業種で就労している割合が高く、50歳以上では、不動産業(30%)、非エネルギー鉱業・石切り業、エネルギー、リサイクル・水道(各々27%)の4業種が高い数字を占めている(数字はすべて2006年)。

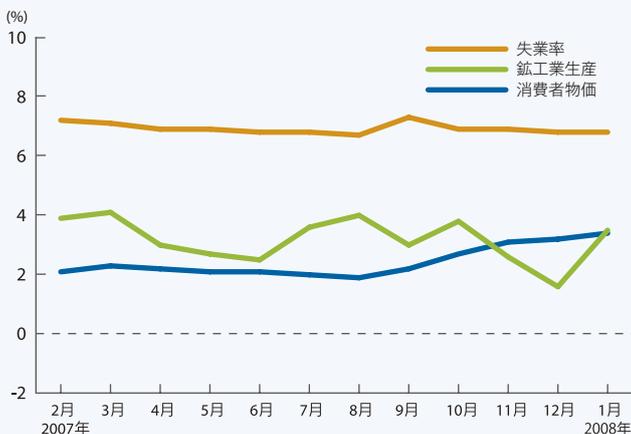
EU27カ国の金融業を除いた企業数は約1万8,900社に上り、全体で5兆1,000億ユーロの付加価値を生みだしている。そのうち、ビジネスサービス業が14.5%(7,400億ユーロ)を占めている。1人当たりの平均人件費を見てみると、最も高いのは輸送用機器産業(4万3,000ユーロ)、最も低いのは宿泊・飲食業および繊維・衣服製造業(各々1万5,000ユーロ)である。1人当たりの労働生産性についてはエネルギー産業が最も高く(12万1,000ユーロ)、宿泊・飲食業が1万8,900ユーロで最も低かった(数字はすべて2004年)。

詳細は下記の出版物をご覧ください
European Business: Facts and Figures (2007 edition)
(欧州委員会統計局のホームページ <http://epp.eurostat.ec.europa.eu> からダウンロードできます。英語)

EU27カ国の企業活動(2004年)
(金融業を除く、グラフ内数字は全体に占める割合%)



EUの消費者物価・失業率・鉱工業生産の推移



鉱工業生産と消費者物価は前年同月比。
数値は2006年12月以前はEU25カ国、
2007年1月以降はEU27カ国のもの。 資料出所: 欧州委員会統計局(ユーロスタット)

ユーロの為替レート(1ユーロ当たり)



資料出所: 欧州中央銀行